

2021年10月31日 宗教改革主日礼拝説教

「囚われの身から赦された人へ」(ヨハネ8章31～36節)

○ヨハネ8章31、32節について

救い主イエスが「神殿の境内で教えて おられたとき」(20節)、多くの人たちが信じた(30節)。さらに「イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに」(31節)〈みことば〉〈真理〉〈自由〉について教えられたが、彼らは受け入れなかった。

今日のみことば：ヨハネ8章31節

*弟子：キリストに学び、キリストに従う人たち

「わたし(キリスト)の^{ことば}言葉にとどまるならば、あなたたちは^{ほんとう}本当にわたしの^{でし}弟子である。」

神の子イエスは、ご自身のみことばに聴き、みことばのうちにある救いと赦しに留まり、《罪》《死》《欲》《世》《人》等の縛りから解かれ続ける者は、みことばをとおして「真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」(32節)と語られた。

☞みことばを聞いても、〈赦された人〉として生かされないと、いつまでたっても、わたしたちは、《悪しきもの》に囚われた「罪の奴隷」(34節)のままである。

問：あなたの心を抑えつけ、キリストへの思いを妨げるものは、何ですか？

○ヨハネ8章36節の〈みことば〉について

「子(神の子イエス)があなたたちを自由にすれば、あなたたちは本当に自由になる。」(36節)

※わたしたちを《囚われの身》から解くのは、救い主イエスがあなたに語る〈赦しのみことば〉、赦しのうちに備えられている〈新たな命〉だけである。